

ヨコハマ市民まち普請事業 平成30年度整備施設 「多世代交流スペース「宮ノ前テラス」」 9月9日（日）グランドオープン！！

市民の皆様が地域の特性を生かした身近な生活環境の整備を自ら考え、つくりあげる「ヨコハマ市民まち普請事業」。二段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最大500万円の整備助成金を交付する事業です。

平成29年度に選考された「中田のえんがわ「宮ノ前テラス」多世代交流スペース」の提案について、このたび、施設が完成したため、グランドオープンとして、地域の方々を対象に記念式典と内覧会が実施されます。地域の皆様が協力して完成した施設を、是非ご覧ください。

グランドオープンの概要

1 日時

平成30年9月9日（日）

11時～（15分程度） オープンセレモニー ※式典は関係者のみ出席

13時30分～15時 地域の方に向けた内覧会

2 会場

多世代交流スペース「宮ノ前テラス」
（泉区中田東4丁目59-41）

3 当日実施するイベント（13時30分より：予定）

ミニライブ、シェイプアップストレッチ

骨密度測定、血管年齢測定 等

※入場無料、事前申込不要

【取材の際は、直接、会場へお越しください。】



「宮ノ前テラス」とは

「宮ノ前テラス」は、高齢者サロンの活動者や子育て世代の保護者、自治会役員、民生委員・児童委員など、地域の住民で構成された団体であるNPO法人宮ノマエストロが開設しました。

団体が目指す、赤ちゃんから小学生、中高生、シニアまですべての世代の人が緩やかに繋がり困った時には支えあい、気軽に憩いの時を過ごせるような心地よい居場所を作りたい、という考えで作られた**多世代交流スペース**です。

カフェスペースでは**近隣の農地で作られた野菜を使用したランチの提供**、多目的スペースでは**親子リトミックや健康講座等、多世代へ向けた様々なイベントや事業を実施**していきます。

高齢者向けの事業の一部は、「横浜市の介護予防・日常生活支援総合事業」として実施する予定です。



外観（宮ノ前テラスは1階）



拠点のプレオープンで実施しているイベント

裏面あり

「宮ノ前テラス」が出来るまで

《提案の内容》

中田町宮ノ前公園隣接地に新築した建物（2階が学童、1階は建築主が地域のためのスペースにしたいと開設した集会所）の1階に、助成金を活用して、テラスの舗装、キッチンや作り付けの家具を整備することで、地域住民が気軽に憩いのときを過ごせる多世代交流スペースを開設。

《地域の課題》

- ・長く住んでいる高齢者世帯と、新しく入ってきた子育て世帯の間で交流が少ない。
- ・高齢化が進み、坂も多く、集まれる場所も少ないので、高齢者の引きこもりがちで、生活に不便も感じている。
- ・共働きの子育て世代が多く地域との関係性が希薄。

《整備により期待される効果》

- ・人が集まる公園の隣という好立地を生かして様々な世代がつながる地域交流の場としての役割を担います。
- ・高齢者向けのイベントや講座を多数行うことで、高齢者の引きこもりを少なくし、地域住民の認知症の予防や健康寿命をのばします。

整備のポイント

(1) 宮ノ前テラスは中田町宮ノ前公園に隣接しています。近隣住民に実施したアンケートや拠点への要望に、「公園を利用する際に拠点も利用したい」、「公園と一体利用したい」という声が多かったため、泉区役所と調整をして、自主工事で公園側の柵を一部撤去し、公園と拠点が一体利用できるようにしました。

(2) 外構舗装にあたっては、地域の皆様も参加して、土堀りやならし工事を実施しました。

近隣住民が参加した舗装工事



公園との一体利用



（参考）ヨコハマ市民まち普請事業の流れ（※本提案を選考した29年度）

- ・30万円を限度に活動助成金を交付
- ・専門家の紹介を希望するグループにまちづくりコーディネーター等を紹介
- ・話し合いの場に市職員が同席し、アドバイスをを行う等の支援

- ・50万円～500万円の整備助成金を交付（申請金額によります）
- ※対象経費は、設計費、工事費、工事監理費、活動経費となります。



【ヨコハマ市民まち普請事業HP】：<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chikimachi/machibushin/>

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 甲斐 泰夫 Tel 045-671-2665